



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-132953  
(P2000-132953A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000.5.12)

(51) IntCl.	識別記号	P I	フーム(参考)
G 1 1 B 27/34		G 1 1 B 27/34	P 5 C 0 5 3
19/02	5 0 3	19/02	5 0 1 C 5 D 0 7 7
11 0 4 N 5/93		11 0 4 N 5/93	Z

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願平10-301440

(22) 出願日 平成10年10月22日 (1998.10.22)

(71) 出願人 5990029024

東芝デジタルフロンティア株式会社  
東京都港区高輪三丁目13番1号

(72) 発明者 豆田 邦吉

東京都中央区日本橋浜町2-62-5 株式会社ビッツ内

(74) 代理人 100077849

弁護士 須山 佐一 (外1名)

Fチーム(参考) 50053 FA24 GA11 GB05 GB11 GB12

CB38 HA30 JA03 JA18 JA24  
KA24 LA08

SD077 AA25 BB11 CB15 DC22 DD05

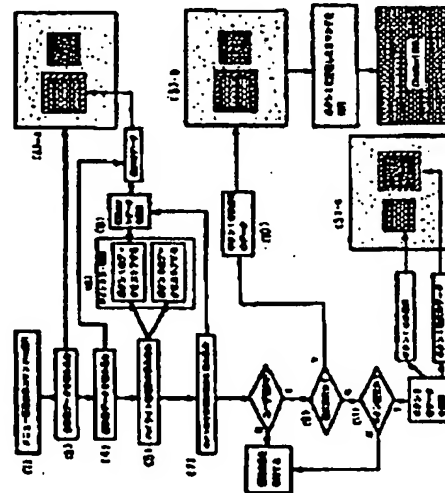
EA33 HA07 HC27 HD01

(54) 【発明の名称】 選択メニュー画面を記録した記録媒体

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 選択可能な複数の画像をマルチ画面動画として表示しこの動画の各個別動画にボタン機能が付与した表現力の豊かなメニュー画面データを記録した記録媒体を提供する。

【解決手段】 DVDビデオ規格に準じたメニュー画面データが記録された記録媒体であって、(a) 複数の本画面像を表示する本画面像データ群と、(b) 各本画面像を編集したマルチ画面動画を各主映像を画面に表示する主映像データと、主映像と重ねて副映像を画面に表示する副映像データと、主映像のマルチ画面の各個別動画を扱う機能ごとに副映像に前記個別動画を選択決定するボタン機能を付与し、ボタンの選択時及び又は決定時の表示色並びに決定時に選択された個別動画に対応する本画面像を画面に表示させるコマンドを定義するハイライト情報群とから構成される選択メニュー画面データを記録している。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 OVDビデオ規格に準じたメニュー画面データが記録された記録媒体であって、(a) 複数の本画面画像を表示する本画面画像データ群と、(b) 前記各本画面画像を構成したマルチ画面動画像を含む主映像を画面に表示する主映像データと、前記主映像と重ねて副映像を画面に表示する副映像データと、前記主映像のマルチ画面の各個別動画像を画素単位ごとに前記副映像に前記個別動画像を選択決定するボタン情報を含む付与するとともに、少なくともボタンの選択時及び/又は決定時における表示色並びに決定時に選択された個別動画像に対応する本画面画像を画面に表示させるコマンドを定義するハイライト情報群とから構成される選択メニュー画面データが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項 2】 前記副映像データは、背景、パターン、紅紫色1及び紅紫色2からなる任意に定義可能な4種の属性から選ばれた少なくとも1種の属性を有し、各属性はそれぞれ表示色及びコントラストを定義可能とされていることを特徴とする請求項 1記載の記録媒体。

【請求項 3】 前記ハイライト情報群は、ボタンの種類を示す位置情報、前記ボタンの種類における選択時及び決定時の各属性の色及びコントラストの属性並びに決定時に実行されるコマンドからなることを特徴とする請求項 1又は2記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数の本画面画像を表示する本画面画像データと画面に表示すべき本画面画像を選択決定するメニュー画面データがOVDビデオ規格に準じた方式で記録された記録媒体に係り、特に、複数の本画面画像の内容をマルチ画面動画像として表示しこのマルチ画面動画像の各個別動画像にボタン情報を付与することにより表示品質と操作性を向上させたメニュー画面データが記録された記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来からOVDビデオ規格に準じた方式で複数の本画面画像を記録した記録媒体には、所定の本画面画像を選択、決定して再生させるためのメニュー画面を表示させるメニュー画面データも記録されている。

【0003】なお、本明細書において、OVDビデオ規格とは、OVD規格の中の再生専用ディスク(Read Only Disc)のアプリケーション規格であるOVDビデオ仕様書に規定された規格をいい、具体的には再生専用OVD仕様書/パート3、ビデオ仕様書バージョン1.0 1995.8(OVD Specifications for Read-Only Disc/Part 3, Video Specifications Version 1.0 August 1995)をいう。

【0004】本発明に関してこのOVDビデオ規格と抵触しない範囲で変更されたOVDビデオ規格も本明細書におけるOVDビデオ規格に含まれる。

【0005】また、本明細書において「本画面画像」とは、映画、ゲーム、演劇記録、実験記録、統計記録、教育資料等の本来の再生目的の「動画像」又は「静止画」を意味しており、「複数の本画面画像を構成したマルチ画面動画像」とは、記録された複数の本画面画像をマルチ画面の動画像としてその全部またはその一部を同時に画面に表示したものをいう。

【0006】図10はOVDビデオ規格における記録媒体(光ディスク)に記録されたデータ群のデータ構造を模式的に示したものである。

【0007】記録媒体1に記録されたデータは、再生装置に対して制御情報として働く再生情報2と、本来の記録情報であるVOB(Video Object)3から構成されている。VOB3は、VOB制御情報、サーチ情報、映像(Video)情報、音声(Audio)情報、副映像情報等から構成され、これらの情報はその表示される内容からメニュー情報と本画面情報に区分することもできる。

【0008】このような記録媒体1は、OVDビデオ規格に準じた再生装置4にセットして再生情報2とVOB3を光学式読取ヘッドのような読取装置を介して再生装置のメモリに読み込まれた後、記録情報が再生されて映像が画面に表示される。

【0009】OVDビデオ規格においてメニュー画面を構成するデータは、一般に、図14のAに示すように、「主映像(Video)データ」、「副映像データ」及び「ハイライト情報群」から構成されている。

【0010】従来、これらのデータのうち、「主映像データ」は基本となるメニュー画面の背景をなす静止画データで構成されていた。

【0011】「副映像データ」は、背景、パターン、紅紫色1、紅紫色2からなる定義可能な4種の属性を有しており、これらの少なくとも1つの属性を定義してこの属性についてそれぞれ色とコントラストを定義できるようになっている。この「副映像データ」は主映像に対する位置、形状及び色のデータを持ったビットマップデータで構成され、従来、メニューそのもの、すなわち文字や図形を表す画面データとして用いられていた。

【0012】「ハイライト情報群」は、副映像にボタン選択情報を与えるとともに、ボタンの選択時及び決定時におけるコントラスト、表示色、並びに決定したときに実行されるコマンドを定義するものである。

【0013】従来のOVDビデオ規格に準じた記録媒体のメニュー画面データの構成を、図10を用いて更に詳細に説明する。

【0014】メニュー画面の背景となる主映像データ

(1)による静止画には、この静止画に対する位置、映像の形状(パターン)及び色(紅紫色1、紅紫色2)のデータを持った副映像データ(ビットマップデータ)

(2)「Chapter1」、「Chapter2」、「Chapter3」が重ねて表示されて画面(3)が得られる。さらに、副映像

(2)にハイライト情報(4)によってボタン機能が付与され、ボタン選択時及び決定時における表示色、コントラスト並びに決定時に実行されるコマンドが定められてメニュー画面が構成されている。

【0015】なお、このメニュー画面では、メニューが最初に実行されたときにハイライト情報(4)の中から別途に設定されているボタン番号初期値(5)によって選択された一つのハイライト情報により定められた画面(6)が表示される。

【0016】図15は、図14に示したメニュー画面のデータを記録した記憶媒体(例えば光ディスク)から図示を省略したDVRビデオ規格に準拠して構成された再生装置がメニュー画面を表示するまでのフロー図である。

【0017】図15において、再生装置がメニュー画面の表示コマンドを実行すると(1)、再生装置のデータ読取装置(例えば光学式読取ヘッド)は、メニュー画面データを記録した記憶媒体からメニュー画面の登録となる静止画の主映像データを読み込み(2)、その主映像データ(背景静止画)(3)を画面表示合成バッファ(4)-aに格納する。

【0018】次に、再生装置は同じ記憶媒体からメニュー項目「Chapter1」、「Chapter2」を表示する副映像データを読み込み(5)、その副映像データ(メニュー項目)(6)を画面表示合成バッファ(4)-aに格納する。

【0019】さらに、再生装置は、同じ記憶媒体からハイライト情報とそのハイライト情報群を選択するボタン番号初期値を読み込み(7)、その初期ボタン番号データを再生装置のメモリ(8)にストアし、指定の初期値データを選択し(9)-a、表示合成バッファ(4)-aに格納する。

【0020】以上の再生装置の動作によって画面表示合成は完成し「Chapter1」が選択されていることを示す画面(10)-aが表示画面に表示される。

【0021】次にユーザー操作による選択、変更のフローを説明する。

【0022】図15において、メニュー画面表示(10)-aが保持されている状態で、再生装置はユーザー操作の有無の判別を行う(11)、ユーザー操作があった場合には選択状態が決定されたかどうかを判別する(12)。

【0023】決定状態と判別された場合は(12)Y、再生装置のメモリ(8)に伝えられ、初期選択された状態のボタン表示データ(9)-aは、決定状態表示データに置き換えられ(9)-b、ボタン表示が決定色に変更されたデータが表示合成バッファ(4)-bに格納される。そして、表示画面は選択表示が決定表示に変更され(10)-b、さらに決定されたボタンに付随したコマンドが実行されて(13)、対応する本編の再生が行

われる(14)。

【0024】図15の画面表示(10)-aが保持されている状態で、ユーザー操作が選択決定でないと判別された場合は(12)N、ボタンの変更であるか否かの判別がなされる(15)。

【0025】ボタンの変更であると判別された場合は(15)Y、再生装置のメモリに伝えられ(8)、初期選択された状態のボタン(9)-aは別のボタンの選択状態に変更されて(9)-a、表示合成バッファ(4)-aに格納され、メニュー画面は「Chapter2」が選択されたように表示される(10)-a。

【0026】DVRビデオ規格においては、図15におけるメニュー文字(6)は、ボタンを実行した後の再生される内容を示している。

【0027】しかしながら、このようにメニューの内容の表現は動えるデータが副映像データでピットマップの静止映像のみであるため、そのメニューが表現できる内容が限られており本編映像の内容が理解しにくいという問題があった。

【0028】また図15の主映像データ(2)として静止画を用いることも考えられるが、主映像データにおける静止画はせいぜい背景画面として応用されるだけであり、メニューのボタンを実行後の本編映像の再生内容を表現するには不十分であるという問題があった。

【0029】さらに、従来のメニュー画面では、ボタンの機能が限られたため、DVRビデオ規格準拠のパソコンで再生するような場合にはマウスクリックによるボタンの操作性が悪いという問題もあった。

【0030】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような従来のDVRビデオ規格に準拠した記憶媒体におけるメニュー画面の表現力の不足を解決しようとするもので、DVRビデオ規格に準拠したメニュー画面データが記録された記憶媒体であって、選択可能な複数の動画又は静止画をマルチ画面動画として表示しこのマルチ画面動画そのものにボタン機能を付与した表現力の豊かな、操作性の良好なメニュー画面を構成し得るメニュー画面を記録した記憶媒体を提供することを目的とする。

【0031】

【課題を解決するための手段】本発明の記憶媒体は、DVRビデオ規格に準拠したメニュー画面データが記録された記憶媒体であって、(a)複数の本編映像を表示する本編映像データ群と、(b)前記各本編映像を構成したマルチ画面動画を含む主映像を画面に表示する主映像データと、前記主映像と重ねて副映像を画面に表示する副映像データと、前記主映像のマルチ画面の各個別動画を扱う時刻ごとに前記副映像に付随個別動画を選択決定するボタン機能を付与するとともに、少なくともボタンの選択時及び/又は決定時における表示色並びに決定時に選択された個別動画に対応する本編映像を画面に表

示させるコマンドを定義するハイライト情報群とから構成される選択メニュー画面データが記録されてなることを特徴としている。

【0032】本発明における主映像データは、本画面像が動画の場合には本画面像そのもの又は本画面像の内容がよくわかる部分を編集した動画、本画面像が絵画のような静止画の場合には例えばその絵画を作者が説明する場面の動画などの複数の個別動画を、背景画面像素材とともにビデオ合成編集してマルチ画面の合成画面像を作成し、この合成画面像を映像データとしたものである。

【0033】DVDビデオ規格における副映像データは、背景、パターン、紅緑色1及び紅緑色2からなる任意に定義可能な4種の属性の中から少なくとも1種を定義可能とされ、各属性はそれぞれ表示色及びコントラストを定義可能とされている。

【0034】すなわち、副映像データは、画面全体の中で、種類を指定して背景、パターン、紅緑色1及び紅緑色2のうちの少なくとも1つの属性を定義し、さらに、各属性について表示色及びコントラストの定義をすることができ、この副映像データは主映像データと重ねて表示され、通常、主映像の個別動画と異なる種類のコントラストを0(ゼロ)と定義することにより、画面上に主映像の個別動画が表示されるようにしている。

【0035】ハイライト情報群は、副映像データに対して働くものであり、ボタンの種類を示す位置情報、選択時の色及びコントラスト情報、決定時の色及びコントラスト情報並びに決定時に実行されるコマンドから構成されている。なお、選択と決定は通常一連の動作で行われるから、設計によっては、ボタンの選択時及び決定時における表示色(及びコントラスト)のいずれか一方を省略することも可能である。

【0036】決定時に実行されるコマンドとしては、選択及び/又は決定時の色及びコントラスト情報で指定された個別動画に対応する本画面像の再生を実行するコマンドが用いられる。

【0037】本発明の記録媒体は、DVDビデオ規格による専用の再生装置によって再生されるが、DVDビデオ規格に準拠した再生装置を有する装置であれば、例えばパソコンによっても再生することが可能である。

【0038】【作用】本発明の記録媒体は、DVDビデオ規格に準じた再生装置で再生することにより、各個別動画そのものにボタン表示の付与されたマルチ画面が表示される。そして、マルチ画面動画の中から見たい本画面像に対応する個別動画を選択、決定すると選択、決定された個別動画のボタン表示の色(及びコントラスト)が 바뀌って選択、決定されたことが視覚的に認識できるとともに、コマンドが実行されて選択、決定された個別動画に対応する本画面像が表示画面に表示される。

【0039】本発明においては、本画面像に対応する個別動画がマルチ画面で表示されるとともに、各個別動画がボタンとして表示され、かつ個別動画そのものにボタン機能を付与しているため、表示と操作にダイナミック感が付与されて、再生する内容とともにメニュー画面そのものの表現も豊かにすることが可能になる。

【0040】特に、本発明をDVDビデオ規格の規格のパソコンで再生する場合には、メニュー画面の上の見たい個別動画にカーソルを移動してクリックすることにより対応する本画面像が再生されるようになり、見たい動画に視線を集中したままでクリック操作をすることができ、操作感がきわめて良好である。また、個別動画の画面の全体がスイッチ領域となるためパソコンで再生する場合の操作性も良好である。

【0041】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

【0042】(実施例1) 図1は、この実施例に用いられる個別動画をマルチ画面で表示する「主映像データ」の製作過程を模式的に示すフロー図である。

【0043】まず、本画面動画である個別動画素材a、個別動画素材bとともに、背景画となる同一場面を撮影した動画素材cを用いて(1)、これらをビデオ合成編集機によってビデオ合成編集(Digital Video Effect)

(2)して合成動画素材(3)を作成する。

【0044】(4)はこの合成動画素材(3)の1シーンを表したもので、個別動画素材aによる個別動画(5)と、個別動画素材bによる個別動画(6)が背景画面動画素材cと重ね合わされて表示されている。この合成動画素材(3)を、再生すると、個別動画(5)と個別動画(6)が静止した背景(7)の中で、それぞれ別面に動いているように見える。

【0045】この合成動画素材(3)をMP EG-2エンコードすることによって(8)、本発明における主映像データ(9)が得られる。

【0046】図2は、この実施例に用いる「副映像データ」の製作過程を模式的に示すフロー図である。

【0047】まず、例えばパソコンのグラフィックソフトウエア等を用いて図示するような720画面×420画面のビットマップデータを作成する(1)。

【0048】このビットマップデータの内の矩形の枠(3)は、図1の(4)における個別動画(5)。

(6)を囲む位置と寸法とされており、図2の矩形の枠(3)の外側の部分は、図1における背景(7)の位置に対応している。

【0049】このビットマップデータは、DVD副映像規格に準じて以下の条件でエンコードされている。

【0050】(4)はこのビットマップデータの各ピクセルを定義する条件であり、この実施例では(2)を背景ピクセルとして、(3)をパターンピクセルとして定義している。

【0051】(5)は(4)で定義した各ピクセルを副映像として主映像に重ねて発色させる場合の色を定義している。

【0052】また、(6)は各ピクセルが主映像に対して持つコントラストを定義している。この実施例では各ピクセル毎にコントラスト(ゼロ)を指定しており、伝送するハイライト情報のデータでこのコントラストの指定変更が行われないとは発色せず、見えないことを意味している。この副映像データを主映像データと重ねて再生した場合、副映像データのコントラスト(ゼロ)に定義された領域では主映像データによる映像だけが現れることになる。

【0053】以上の条件で副映像(1)をDVRビデオ規格に準じてエンコードし(7)、DVRビデオ規格に準拠した副映像データ(8)が得られる。

【0054】図3は、副映像を主映像に重ねて選択発色させたり、選択決定された時の発色、ボタン情報のコマンド実行を行うための情報であるハイライト情報群のデータ構造を示す図である。

【0055】同図において、(1)は図2における副映像のビットマップデータ(1)である。

【0056】図3の(1)のA、B、C、Dで囲まれた領域をボタン1として定義し、E、F、H、Iで囲まれた領域をボタン2として定義するためのハイライト情報(2)を、以下の条件で定義する。

【0057】ハイライト情報(2)は、ボタンカラー情報(3)、ボタン情報(4)で構成されている。

【0058】ボタンカラー情報(3)は、ボタン情報(4)で定義するボタンの何れにも適用することができて各ボタンの選択状態時と決定状態時の色を定義し、図2の(4)に示した副映像のピクセルの内、図3の(4)で定義したボタンの情報に含まれたピクセル毎の選択色、選択時のコントラスト及び決定色、決定時のコントラストを定義する。

【0059】これらのボタンカラー情報は、ボタン選択時には、副映像のパターンピクセル部は発色に発色し、背景部はコントラスト(ゼロ)とし発色させない。またボタン決定時には副映像のパターンピクセル部は発色に発色し、背景部はコントラスト(ゼロ)とし発色させない、と定義している。

【0060】このボタンカラー情報は3種類の定義ができるがこの例では1種類のみ使用する。

【0061】ボタン情報(4)は、ボタン1及びボタン2をそれぞれ別個に、どのボタンカラー情報を使用するか、画面のどの領域がどのボタンとして指定するか、さらにボタンが決定された時に実行されるコマンドをそれぞれ指定する。

【0062】この例では、何れのボタンもボタンカラー情報1を使用し、領域A、B、C、Dをボタン1と指定し、領域E、F、H、Iをボタン2と指定して、各々の

ボタンに別個のコマンドを考えるようにしている。

【0063】図4は、以上の「主映像データ」、「副映像データ」及び「ハイライト情報」からDVRビデオ規格に準拠したプレゼンテーションデータが作成される様子を示している。

【0064】図4の(1)は図1で作成された主映像データ、(2)は図2で作成された副映像データ、(3)は図3で定義したハイライト情報群である。

【0065】これらのデータをDVRビデオ規格に準拠したプレゼンテーションデータを作成するためにマルチプレックス(4)することによって、ビデオオブジェクト(Video Object)のデータ(5)が作成される。

【0066】このビデオオブジェクトデータは、2048バイトを1パック単位として、1画または複数のパックに分割された主映像データ、副映像データ、ハイライト情報のバイナリデータである。

【0067】ハイライト情報は(5)のMVJPKに、主映像データはVJPKに、また副映像データはSPJPKに収納されており再生装置はそれぞれのパックの内容を解釈して必要なパックを組みとる。

【0068】以上のビデオオブジェクトデータによる本装置の記憶媒体をDVRビデオ規格に準拠した再生装置で再生する場合の動作を図5によって説明する。

【0069】図5において、図示を省略したDVRビデオ規格に準拠した再生装置からこのビデオオブジェクトデータによって構成されたメニュー画面を表示するコマンドが実行される(1)。

【0070】このコマンドで、図4のVJPK(主映像データ)を必要量読み出し、図1のシーン(4)を画面に表示する(2)。

【0071】この画面は図1で作成した動画画面であるので2つの別個動画が別個に動いているように見える。

【0072】次に、副映像データ(図4の(5)のSPJPK)を必要量読み出す(4)。

【0073】この副映像データは図2で作成したものであるため、全てのピクセルは図2の(6)で定義してあるように主映像に対してコントラスト(ゼロ)で指定してあるためで表示はされているが見えない状態となっている。

【0074】さらに、ハイライト情報群(図4の(5)のMVJPK)を必要量読み出し(5)、ハイライト情報を取得し、再生装置のメモリに格納する(6)。同時にボタン番号初期値を読み込み(7)、ハイライト情報群の内、ボタン1の情報を選択時のデータとして使用する(8)。

【0075】すなわち、ボタン1は図3の(4)で、ボタンカラー情報1の選択色のデータで領域A、B、C、Dの中を発色するように定義されているのでパターンピクセル部は発色で主映像に対して十分なコントラストで発色している。また背景ピクセルはコントラスト(ゼ

口)で指定されているので領域内の背景ピクセルは白色に指定されていても発色はしていない。一方ボタン2の方は選択されていないのでハイライト情報は使用されずに副映像データのみが有効であるが前述したようにハイライト情報は使用されずに副映像データのみが有効であるが前述したように副映像データは全てコントラスト0(ゼロ)とされているので見えない。

【0076】以上の通り(3)～eの画面で領域A、B、C、D及びE、F、H、Gの中は個別動画として再生されており、その個別動画はメニューそのものを表現させることができるので再生内容がメニュー画面の状態で十分に表現し得ることができる。

【0077】ユーザー操作におけるボタン機能についてさらに説明する。

【0078】再生装置によって、ユーザーによるボタン操作により選択中のボタンが決定されると(9)、図3のボタンカラー情報(3)のボタンカラー情報1の決定色で変換されたデータにパターンピクセルの色が変化して(10)、画面は黄色から緑色に変化する(3)～b。

【0079】さらに、このボタンには決定時に実行すべきコマンドが指定されているのでこのコマンドが実行される。

【0080】この例ではボタン1にチャプター1を再生するコマンドが指定されているので本編のチャプター1の再生が開始される。

【0081】すなわち、領域A、B、C、Dの中で再生されている個別動画がボタン1の機能を有しているように機能しており、その個別動画によってボタン1で実行される再生内容がメニュー画面で十分に表現できていることになる。

【0082】再生装置によってボタン2に選択が変更された場合(11)、再生装置のメモリに格納されているボタン2の情報(5)が選択時データとして採用され、ボタン1のデータとなる。

【0083】ボタン2は図3の(4)で領域をE、F、H、Gと指定してあるのでその領域に対応する副映像データとハイライト情報によって領域E、F、H、G内の副映像のパターンピクセルが黄色に発色し、領域A、B、C、Dは非選択状態なので発色されず(9)～eのように選択表示が移動したことになる。

【0084】図5乃至図12は、この実施例に記載されるデータ群とコマンドを「DVDビデオオーガニングソフトウェア シナリスト2」を使用して表したソースリストである。

【0085】このソースリストをコンパイルすることによって、前述した機能が実現される。このソフトウェアの構成として図4の主映像データ(1)をVideo、副映像データ(2)をSubpicture、ハイライト情報(3)をImposeと扱い、さらに図4でマルチプレックス(4)

するデータをTrackと表している。

【0086】したがって以下のソースは(1)、(2)、(3)をそれぞれ定義してTrackと言う名称でマルチプレックスする構成になっている。

【0087】以下各図が示す内容を説明する。

【0088】(図5)

00000Objects for Motion Menu 00000

000 Color Setup to create Subpicture Window 000

副映像、ハイライト情報で使用するカラーパレットを(R、G、B)の並びで指定し、以降のソースの中でここで定義したパレット番号を引用する。

【0089】DefaultConversionRuleは図4の(1)を作成する場合、ここに定義したRGB色でビットマップ映像を作成するとそれぞれのピクセル領域が定義される。つまり、RGB(128,255,128)のピクセルは背景ピクセルとして定義されることになる。

【0090】(図7)

000Source Files 000

0 Subpicture Default color setup for Motion Picture Window

000 副映像データ定義名

ここで図2で行った副映像データの定義を行う。

【0091】定義名をGA\_Meg.mとしている。図2の(1)で作成したビットマップはFilePathで指定したディレクトリにファイル名がvga5eg.mとして収納されている。DisplayUnitでこのビットマップを表示する色、コントラストを定義する。

【0092】この例ではColor(1,2,3)とは紅紫色2ピクセル群はカラーパレット番号1、紅紫色1はパレット2、パターンはパレット3、背景はパレット4で色指定する事を意味する。Contrast(0.0,15.0)は色指定と同じ原色でそれぞれのピクセル群のコントラストを指定する。この例は背景ピクセル群のみコントラスト15で指定し、それ以外は全てコントラスト0を指定している。

【0093】(図8)

000 ハイライト情報定義

0 Subpicture Highlight color attribute for Motion Picture Window

ここで図3で行ったハイライト情報の定義を行う。

【0094】定義名をson\_3\_impose\_1としている。ButtonColorInfoで0種類のボタンカラー情報を定義する。ButtonColorInfo1ではSelectionColorで選択色(紅紫色2、紅紫色1、パターン、背景)の原色でカラーパレット番号を指定する。SelectionContrast(選択色のコントラスト)、ActionColor(決定色)、ActionContrast(決定色コントラスト)も上記の原色で定義する。ButtonNoはボタン情報である。ButtonNo1ではButtonPosition1でボタンの位置領域を指定する。この例では図3の(1)のC点を(X=43,Y=112)、B点を(X=23,Y=22)で囲まれた矩形A、B、C、Dを指定する。ButtonA

d) adjacentで使用するボタンカラー情報と再生装置を持つボタン移動十字キーの移動方向を指定する。この例で(2,2,2,1)は十字キーをどの方向に動かしてもボタン2に移動し、ボタンカラー情報は1を使用すると定義している。ボタン番号初期値は別途に定義される。

【0095】(図9)

※ 主映像定義

※ Video object should be edited to layer Subpicture window with highlight

ここでメニュー画面で使用する主映像を定義する。

【0096】文書名をVideo 0A\_Meg.vとしている。図1で作成された主映像データ(9)をFilePathの中にファイル名v3a3og.vで格納している。

【0097】(図11)

※ Video Object for target from the Menu ※

なお、Track 0A\_Per1.V及びTrack 0A\_Meg.Vはこのメニュー画面のボタンに定義されたコマンドで再生される本図のTrackの定義である。

【0098】(図12)

※ メニュー画面定義

ここで図4の(4)で行うマルチプレックスするデータTrackを定義する。定義名をTrack 0A\_Meg.vとしている。図4の(1)の主映像は上記で定義したVideo = "0A\_Meg.v"を、図4の(2)の副映像データは上記で定義したSubpicList = 0A\_Meg.mを、図4の(3)のハイライト情報は上記で定義したImposelist = son\_Impos\_1を使用して図4の(4)を行い、図4の(5)のデータを作成する。

【0099】

(発明の効果) 以上詳細に説明したように本発明によれば、DVD規格に準じたメニュー画面データが記録された記録媒体において、選択可能な複数の本画面画像をマルチ画面動画として表示するとともに、このマルチ画面動画の各画面別動画にボタン映像を付与したので、メニュー画面を表示力量がに表示することができる。

【0100】また、DVD規格に準拠したパソコンで再

生する場合にも、見ようとする動画上にカーソルを移動してクリックすることにより、所望の本画面画像を再生することができるので操作性がきわめて良好である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例の主映像データを作成するプロセスを説明するための図。

【図2】 本発明の実施例の副映像データを作成するプロセスを説明するための図。

【図3】 本発明の実施例のハイライト情報を説明するための図。

【図4】 本発明の実施例において主映像データと副映像データとハイライト情報をマルチプレックスしてメニュー画面データを作成する状態を示す図。

【図5】 本発明の実施例を再生装置により再生する場合の動作を説明するための図。

【図6】 本発明の実施例のソフトウェアの一部のソースリスト。

【図7】 本発明の実施例のソフトウェアの一部のソースリスト。

【図8】 本発明の実施例ソフトウェアの一部のソースリスト。

【図9】 本発明の実施例のソフトウェアの一部のソースリスト。

【図10】 本発明の実施例のソフトウェアの一部のソースリスト。

【図11】 本発明の実施例のソフトウェアの一部のソースリスト。

【図12】 DVD規格に準拠した記録媒体のデータ構造を説明する図。

【図13】 従来のDVD規格に準拠したメニュー画面データの構造を説明するための図。

【図14】 従来のDVD規格に準拠した記録媒体を再生装置により再生する場合の動作を説明するための図。

【符号の説明】

1……記録媒体、2……再生装置、3……VOB (Video Object)、4……再生装置。

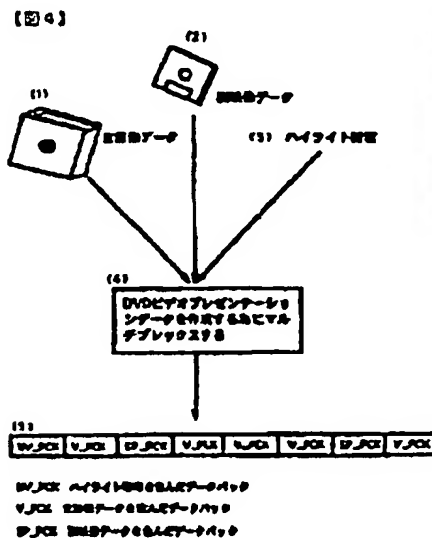
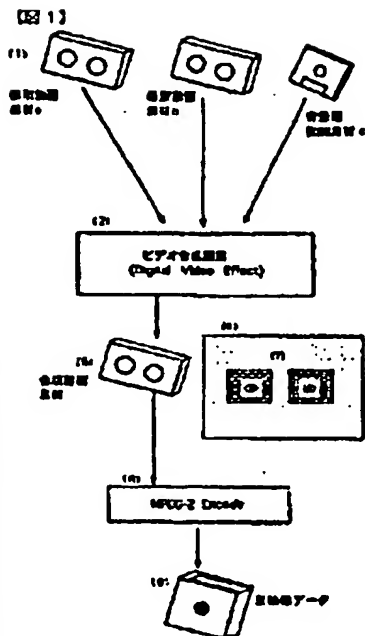
【図9】

```

on 主映像定義
Video object should be edited to layer Subpicture window with highlight
Video 0A_Meg.v
{
  FilePath = "J:\Video\Sample\0A_Meg.v"
  StartPosition = 00:00:00:00 00:00:00:00
  EndPosition = 00:00:00:02 00:00:00:02
  Duration = 2700
  Name = ""
  Format = Subpic
  Layer = 00:00:00:00
  1
  Subpicture = Video
  Subpicture = "0A_Meg.v"
  Subpicture = 0
  Subpicture = 0
}

```





【図5】

Subpicture Defaults for Motion Menu 0000

000 Color Setup to create Subpicture window 000

000 (カラーウィンドウ設定) 000

ColorPalette DefaultPalette {

Palette1 = (54, 54, 54)

Palette2 = (110, 112, 114)

Palette3 = (250, 252, 254)

Palette4 = (0, 0, 0)

Palette5 = (2, 2, 2)

Palette6 = (7, 11, 15)

Palette7 = (125, 127, 129)

Palette8 = (0, 0, 0)

Palette9 = (43, 45, 47)

Palette10 = (16, 18, 20)

Palette11 = (172, 174, 176)

Palette12 = (0, 0, 0)

Palette13 = (22, 24, 26)

Palette14 = (122, 124, 126)

Palette15 = (127, 129, 131)

Palette16 = (250, 252, 254)

}

DefaultColorPalette {

Background = (172, 174, 176, And, Background, And)

Foreground = (0, 0, 0, And, Background, And)

Outline1 = (125, 127, 129, And, Background, And)

Outline2 = (0, 0, 110, And, Background, And)

}

【図7】

000 Score File 000

0 Subpicture Defaults color setup for Motion Picture Window

000 Subpicture Defaults

Subpicture 000 {

Duration = (00:00:00, 00:00:00, 00:00:00)

PlayDuration = (00:00:00, 00:00:00, 00:00:00)

Copyright = 0000

Session = 0000

Source = 0000

SourceType = Subpicture

StreamID = 0

Subpicture {

Time = (00:00:00, 00:00:00, 00:00:00)

Filepath = "/usr/local/lib/motion/motion.vcr"

ConversionInfo {

Background = (0, 0, 0, And, And, And)

Foreground = (255, 255, 255, And, And, And)

Outline1 = (255, 0, 0, And, And, And)

Outline2 = (0, 0, 255, And, And, And)

}

DisplayStart {

Start = 00:00:00

ForwardStart = 0000

Color = (1, 1, 1, 1)

Contrast = (0, 0, 15, 0)

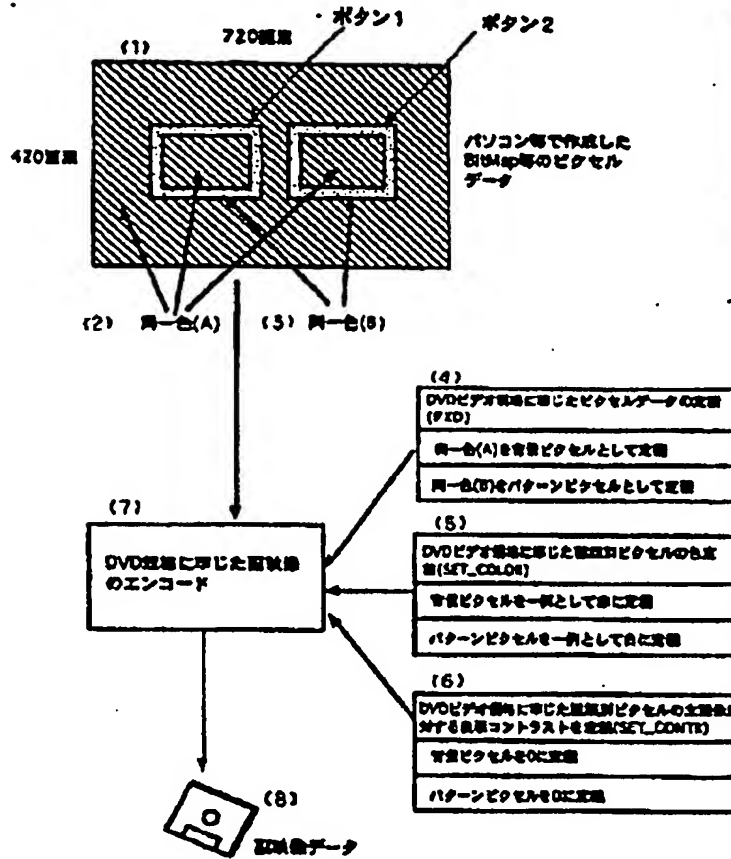
DisplayArea = (0, 0, 719, 479)

Picture = (0, 479)

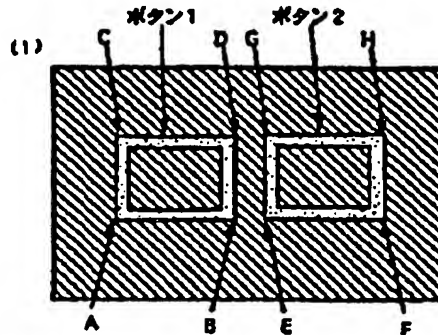
}

}

【図2】



(23)



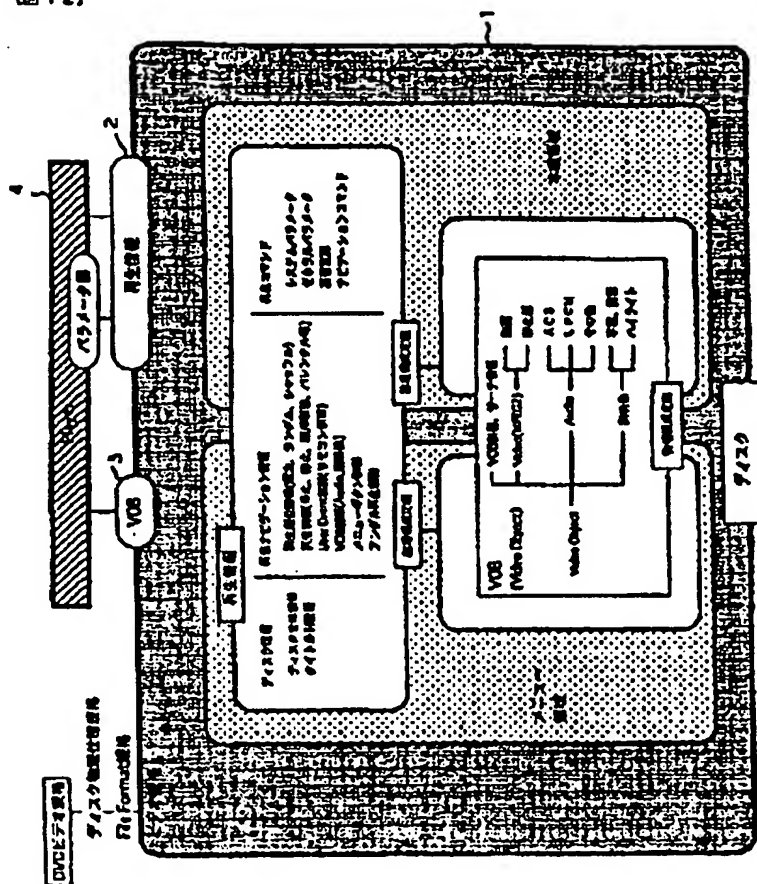
(2) ハイライト情報

(3)	
ボタンカラー情報	
ボタンカラー情報1(選択色)	
選択色でパターンピクセルと指定した領域の色を指定。(黄色)	
選択色で背景ピクセルと指定した領域の色を指定。(白色)	
選択色でパターンピクセルと指定した領域のコントラストを指定。(15)	
選択色で背景ピクセルと指定した領域のコントラストを指定。(0)	
ボタンカラー情報2(決定色)	
決定色でパターンピクセルと指定した領域の色を指定。(青色)	
決定色で背景ピクセルと指定した領域の色を指定。(白色)	
決定色でパターンピクセルと指定した領域のコントラストを指定。(15)	
決定色で背景ピクセルと指定した領域のコントラストを指定。(0)	
ボタンカラー情報3	
ボタンカラー情報3	
(4)	
ボタン1情報	
ボタンカラー情報1を使用する事を指定する	
このボタンの位置及び領域を①のA,B,C,Dの各点を座標で指定する	
このボタンが決定された時に実行されるコマンド(Play Chapter 1)	
ボタン2情報	
ボタンカラー情報1を使用する事を指定する	
このボタンの位置及び領域を①のE,F,G,Hの各点を座標で指定する	
このボタンが決定された時に実行されるコマンド(Play Chapter 2)	

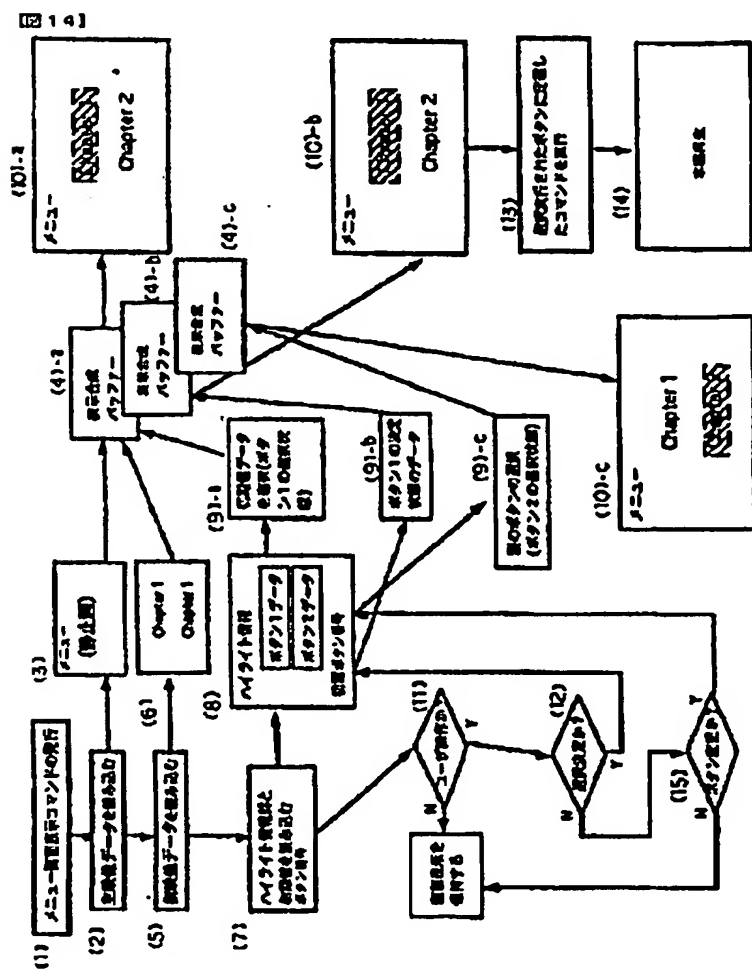




**WATER**









**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**